２０１９年度　ＹＦＡ　Ｕ－１２　グループ研修会

リーグ戦前期【Ｇ－ブルー】

１　日時　　平成３１年４月２２日午前１１時００分から午前１１時５０分までの間

２　場所　　石和スコレー農村グラウンド

３　講師　　西川　陽介氏（ヴァンフォーレ甲府）

４　参加者　Ｇ－ブルー7チームの指導者と保護者　４５名

５ テーマ ① 子どもの自立心（やる気）をどう育てるか

② コミュニケーションスキル向上について

６ 方法 ①について

例題を指導者、保護者がそれぞれの立場でディスカッションし、考え方を共有した。

※例題

ア 選手がスパイクを家に忘れてきました。試合に出られる状態ではないため、指導者はその選手を試合に出場させませんでした。選手は落ち込んでいます。指導者として、また保護者としてどのような言葉がけをしますか？

イ 子どもがどのようにしらた「将来、日本代表で活躍できる選手になれるの？」と言いました。指導者として、また保護者としてどのような言葉がけをしますか？

ウ 選手（自分のお子様）が、試合に負けて悔しがっているチームメイトに対して「お前のせいで負けたんだ」と暴言を吐きました。指導者として、親としてどのような言葉がけをしますか？

エ 試合中にレフェリーの明らかにミスジャッジがあり、選手（子ども）がジャッジに対してヤジを飛ばしました。指導者として、また保護者としてどのような対応をしますか？

オ 試合前、選手たちは非常に緊張していて、「大丈夫かな・・・」と不安そうな顔をしています。指導者として、また保護者としてどのような言葉がけをしますか？

②について

ア 問答ゲーム「あなたはウォーミングアップが必要だと考えますか？」について「なぜ、なに、いつ、どこ、だれ、なんのため、どのように」などを意識して発問することの重要性を検討した。

イ サッカーに関する一枚の絵を使ってどんな絵か一言で答えたり（全体状況の把握）、絵に描かれた事実を証拠に理由を分析したりした。

７ 結果

２０１９年のＵ１２リーグ戦開幕日に保護者、指導者がそれぞれ選手たち（子どもたち）の成長長を願ってディスカッションしました。初めのうちは本音の話が出てきませんでしたが、時間の経過とともに場が和み、活発な意見が出てきました。最後は時間が足りないくらいに。

まずは「選手（子ども）が主役」であり、選手（子ども）が「サッカーが大好き」な気持ちで、自分自身で考え、準備を行い、自分で物事が判断できるようになるよう保護者と指導者が一体となってサポートしていきましょう等と話し合われました。

また、選手（子ども）が前向きに物事を考え、取り組んでいけるような声かけをすることで、選手（子ども）との信頼関係を築くことができ、選手（子ども）のやる気やリスペクトの気持ちを育てていくことができるのではないか等と意見が交わされました。

また、コミュニケーションスキル向上のための具体的な手段等が示され、自立した選手の育成や考えるための頭を創ることの重要性が共有されました。
今回の研修会を終えて、他人の考えを聞き、自分の考えを披露し合うことにより、考えの深化が図られ、コミュニケーション能力が高まり、指導者・保護者間の親密度が高まりました。
西川様、このような機会を作っていただき、本当にありがとうございました。
【報告者　石和SSS　原・玉諸SSS　戸澤】